

# 取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。

接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。

**carrozeria**  
by **PIONEER**

# AVX-P505



# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### [使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画質の調節を行うときは、画面を長く見る必要があります。自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

### [異常時の処置]

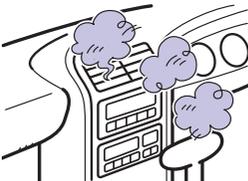
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## はじめに

- 上手にお使いいただくために 6
- 本機の各部のなまえと主な働き 8

## 準備

- モニター部を立ち上げる/  
角度を調節する/収納する 10

## テレビを見る

- テレビのふだんの操作
  - (1) パイオニア製のIP-BUS入力  
付きメインユニットと組み  
合わせた場合 12
    - バンドを選ぶ
    - 自動選局する
  - (2) お手持ちのFM付きカーステ  
レオと組み合わせた場合 14
    - バンドを選ぶ
    - 自動選局する
- 自動選局できないチャンネルを見る 16
- 自動的に
  - 複数のチャンネルを記憶させる 17
  - 記憶させたチャンネルを受信する 18
  - 2カ国語放送の副音声を聞く 19
  - 受信中のチャンネルや記憶  
されているチャンネルを確認する 20

# C O N T E N T S

すぐ使えます  
ここだけ読めば

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

## メインユニットでの操作

本機と組み合わせる	
メインユニットについて	22
メインユニットでのテレビの操作	23

## その他の機能

ナビゲーションやビデオの映像を見る	
(1) パイオニア製のIP-BUS入力 付きメインユニットと組み 合わせた場合	28
(2) お手持ちのFM付きカーステ レオと組み合わせた場合	30
送信周波数を変更する	32
映像の明るさや色を調整する	34
自動収納/立ち上げ機能を解除する	36
画面を後ろに下げて使用する	37

## 付録

モニターの正しい使いかた	38
故障かな？と思ったら	40
リセットについて	41
保証書とアフターサービス 仕様	42 43

はじめに

準備

テレビを見る

メインユニットでの操作

その他の機能

付録

## メモ

この説明書の中の画面は一例です。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

# 上手にお使いいただくために

## 安全走行のために

本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオの映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)

例：テレビを見ようとしたとき



このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

パーキングブレーキをかけているのに“ATTENTION”が表示された場合は、ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキを一度戻して、かけ直してください。なお、パーキングブレーキのかけ直しは、車のエンジンスイッチがONの位置のときに行ってください。

## 組み合わせるカーステレオについて

本機は組み合わせるカーステレオによって、一部の操作が異なります。

### (1) パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせる場合

本機は、IP-BUSモード (取付説明書) で使用します。  
音声は、メインユニットのテレビソースから出力されます。  
操作は、本機とメインユニットで行います。  
(メインユニットでの操作については 24ページ)

### (2) お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせる場合

本機は、ADD ONモード (取付説明書) で使用します。  
音声は、カーステレオのラジオのFMから出力されます。  
操作は、すべて本機で行います。

## 必ず映像の明るさを調整してください

液晶モニターは、その構造上きれいに見える角度が限られていますが、その角度は映像の明るさ（ブライツ）を調整することで変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて映像の明るさを調整してください。（ 34ページ）

## 昼間と夜間の画面の明るさについて

夜間、周囲が暗くなったときに画面がまぶしくならないように、車のライトをONにすると、液晶画面が暗くなります。

## バッテリー上がりを防ぐために

車のエンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

# 本機の各部のなまえと主な働き

チャンネル

## ① CHANNEL ボタン

( 12、14、16、18ページ)

テレビのチャンネルを切り換えることができます。

オーディオセレクト

## ② A ボタン ( 12、14、28、30ページ)

映像はそのまま音声だけを切り換えることができます。

ビジュアルセレクト

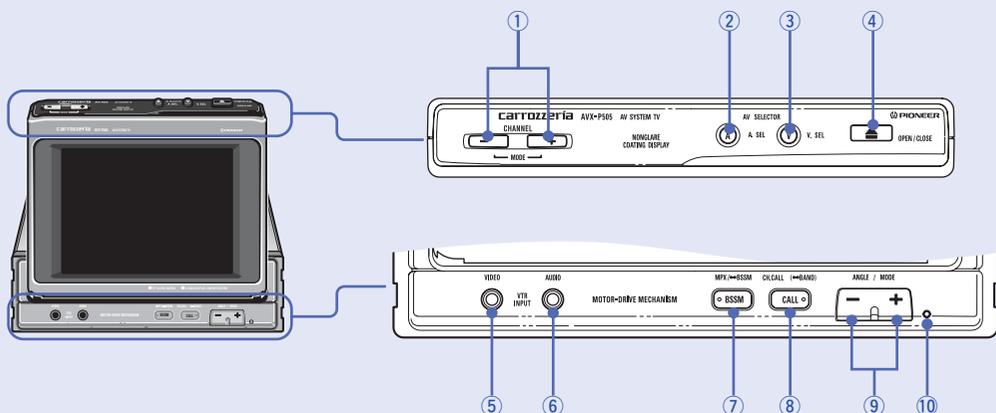
## ③ V ボタン ( 12、14、28、30ページ)

音声はそのまま映像だけを切り換えることができます。

オープン/クローズ

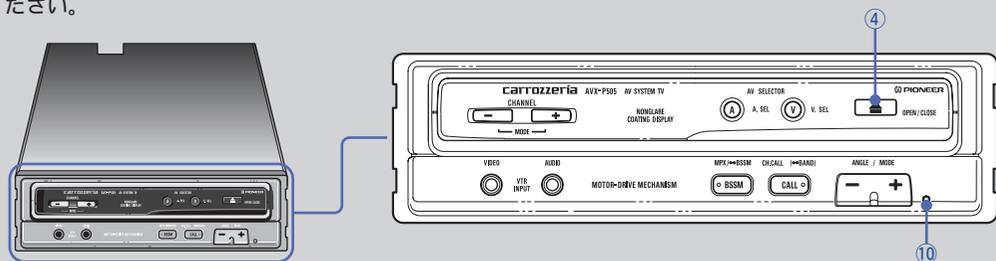
## ④ ▲ ボタン ( 10ページ)

モニター部の立ち上げと収納を行うことができます。



## メモ

④▲ボタンと⑩リセットボタン以外のボタンは、モニター部が収納された状態では動きません。モニター部を立ち上げてから ( 10ページ) 操作してください。



⑤ ビデオ入力 (👉 取付説明書)

⑥ オーディオ入力 (👉 取付説明書)

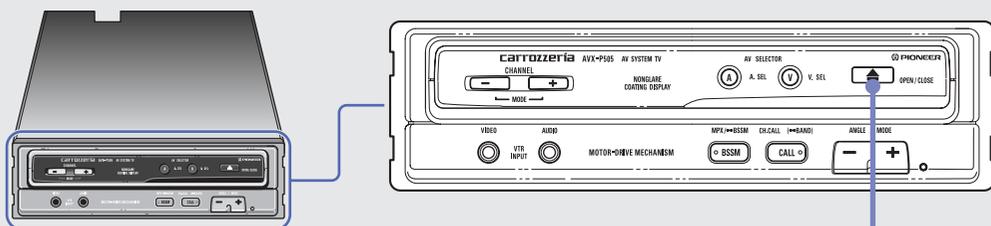
ベストステーションズシーケンシャルメモリー  
⑦ BSSM ボタン (👉 17 ページ)  
受信状態の良いチャンネルを、自動的に記憶させることができます。

チャンネルコール  
⑧ CALL ボタン (👉 20 ページ)  
受信中のチャンネルなどの情報を表示させることができます。

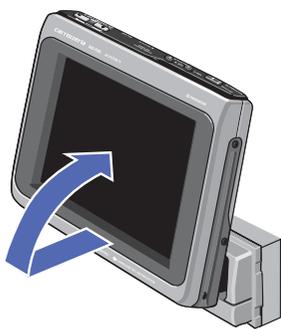
アングル/モード  
⑨ ANGLE/MODE ボタン (👉 10 ページ)  
立ち上がったモニター部の角度を調節することができます。

⑩ リセットボタン (👉 41 ページ)

# モニター部を立ち上げる / 角度を調節



## 1 車のエンジンをかける



自動収納/立ち上げ機能 (☞ メモ) により、自動的にモニター部が立ち上がります。

モニター部が自動的に立ち上がらない場合は

▲ ボタンを押す

モニター部が自動的に立ち上がらない場合は、▲ ボタンを押して立ち上げます。

## メモ

モニター部は自動収納/立ち上げ機能によって、次のように動作します。

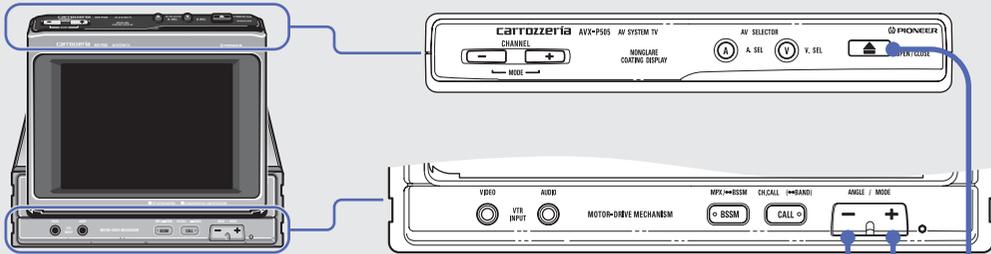
- \* モニター部を立ち上げたまま車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニター部が本体に収納されます。再びエンジンスイッチをON (またはACC) にすると、自動的にモニター部が立ち上がります。
- \* パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせているときは、メインユニットのソースをテレビに切り換えると、約2秒後に自動的にモニター部が立ち上がります。
- \* ナビゲーションをお使いの場合は、ナビゲーションの電源をONにすると、自動的にモニター部が立ち上がります。(☞ 28、30ページ)
- \* 自動収納/立ち上げ機能は、解除することもできます。(☞ 36ページ)

本体にモニター部を収納して車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON (またはACC) にしてもモニター部は立ち上がりません。▲ ボタンを押して立ち上げてください。

立ち上がったモニター部を後ろに下げることができます (セットバック機能)。(☞ 37ページ)

# する / 収納する

すぐ使えます  
ここだけ読めば



## 2 画面を見やすい角度に調節する

ANGLE/MODE ボタンを押す

+ : 画面を上向きにするとき

- : 画面を下向きにするとき



角度の調節は、手動で行わないでください。モニター部に強い力が加わると、故障することがあります。

### メモ

調節したモニター部の角度は記憶され、再びモニター部を立ち上げたときは、自動的に調節した角度になります。

## 3 モニター部を本体に収納する

▲ ボタンを押す



モニター部を収納するときは、モニター部が完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、そのまま放置すると故障することがあります。

準備

# テレビのふだんの操作

バンドを選ぶ

(1) パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせた場合

## 1 メインユニットのソースをテレビにする (☞ 24 ページ)

約2秒後、モニター部が自動的に立ち上がります。(自動収納/立ち上げ機能がONのとき)

## 2 テレビの映像にする

V ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。

テレビの映像



約8秒間、受信状態が表示されます。(表示が消えた後、何か操作すると再び表示されます。)

- ▶ BGV バックグラウンドの映像  
▼ 映像を見ないとき
- ▶ TV テレビの映像  
▼ テレビの映像を見るとき
- ▶ MCC ナビゲーションの映像  
▼ (☞ 28 ページ)
- ▶ VTR ビデオの映像  
▼ (☞ 28 ページ)

## 3 テレビの音声にする

A ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように音声が切り換わります。



- ▶ TV テレビの音声  
▼ テレビの音声を聞くとき
- ▶ MCC ナビゲーション機器の音声  
▼ (☞ 28 ページ)
- ▶ VTR ビデオの音声  
▼ (☞ 28 ページ)

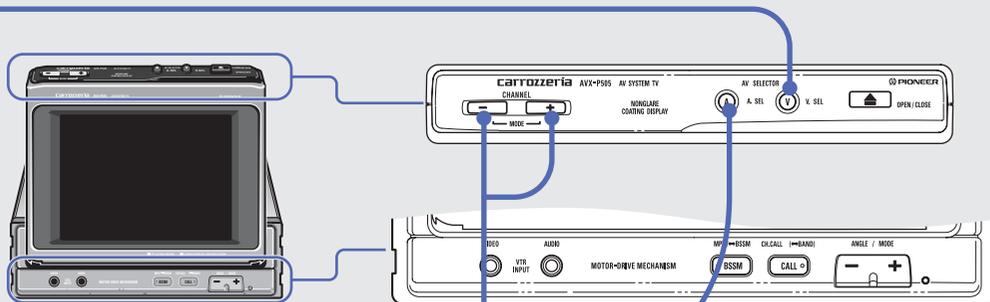
## 4 メインユニットで、見たいバンドを選ぶ (☞ 24 ページ)



TV1 ↔ TV2

より多くのチャンネルを記憶できるように、TV1とTV2に分かれています。(受信できるチャンネルはどちらも1～62CHです。)

ここだけ読めば  
すぐ使えます



## 5 チャンネルを自動選局する

CHANNEL ボタンを押す

- + : チャンネルを大きくするとき
- : チャンネルを小さくするとき



ステレオ放送を受信すると“○”が表示されます。また、2カ国語放送 (19ページ) を受信すると“◎”が表示されます。

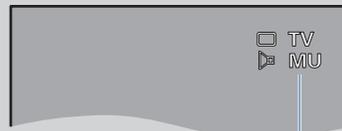
## 6 メインユニットで音量を調節する

メインユニットの取扱説明書参照

### メモ

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声も聞くことができます。)

メインユニットのソースをテレビ以外にすると、テレビの映像を見ながらメインユニットの各ソースの音声を聞くことができます。



“MU”と表示

自動選局は、メインユニットでも操作できます。  
(19ページ)

テレビを見る

# テレビのふだんの操作

バンドを選ぶ

(2) お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせた場合 (ADD ONモード)

モニター部が収納されていた  
らモニター部を立ち上げる

▲ボタンを押す



## 1 テレビの映像にする

Vボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。

テレビの映像



約8秒間、受信状態が表示されます。(表示が消えた後、何か操作すると再び表示されます。)

- ▶ BGV バックグラウンドの映像  
▼ 映像を見ないとき
- ▶ TV テレビの映像  
▼ テレビの映像を見るとき
- ▶ MCC ナavigーションの映像  
▼ (👉 30ページ)
- ▶ VTR ビデオの映像  
▼ (👉 30ページ)

## 2 テレビの音声にする

Aボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように音声切り換わります。



- ▶ OFF 音声解除  
▼ カーステレオでラジオを聞くとき
- ▶ TV テレビの音声  
▼ テレビの音声を見るとき
- ▶ MCC ナavigーション機器の音声  
▼ (👉 30ページ)
- ▶ VTR ビデオの音声  
▼ (👉 30ページ)

カーステレオでラジオを聞くときは、必ず音声を“OFF”にしてください。“OFF”にしないとラジオの受信感度が落ちることがあります。

## 3 見たいバンドを選ぶ

CALL ボタンを2秒以上押す

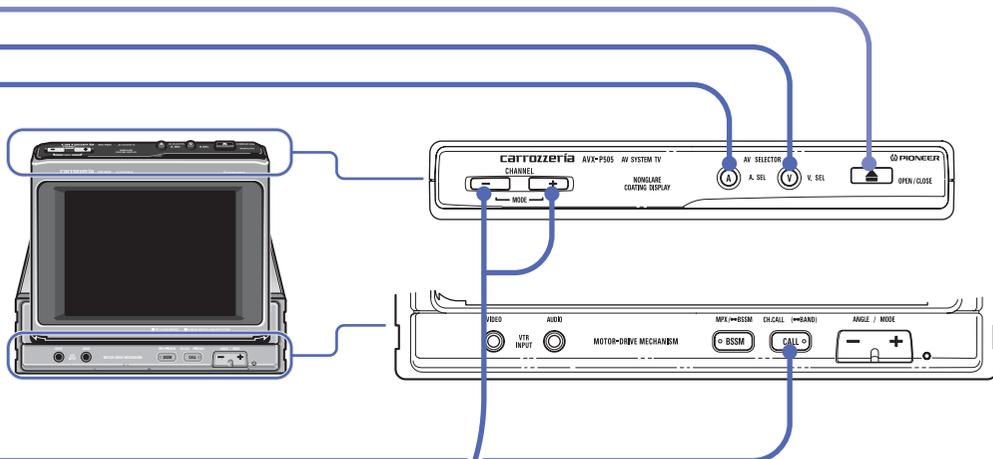
ボタンを2秒以上押すごとにバンドが切り換わります。



TV1 ↔ TV2

より多くのチャンネルを記憶できるように、TV1とTV2に分かれています。(受信できるチャンネルはどちらも1～62CHです。)

ここだけ読めば  
すぐ使えます



## 4 チャンネルを自動選局する

CHANNEL ボタンを押す

- + : チャンネルを大きくするとき
- : チャンネルを小さくするとき



ステレオ放送を受信すると“”が表示されます。また、2カ国語放送 ( 19ページ) を受信すると“”が表示されます。

## 5 カーステレオでテレビの音声を聞く

カーステレオでFMの87.9 MHzを受信する

カーステレオのスピーカーからテレビの音声が出力されます。



送信周波数  
FMの周波数は、この周波数に合わせてください。

テレビの音声がFM放送と混信する場合は、ほかの送信周波数に変えてください。  
( 32ページ)

テレビを見る

### メモ

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声も聞くことができます。)

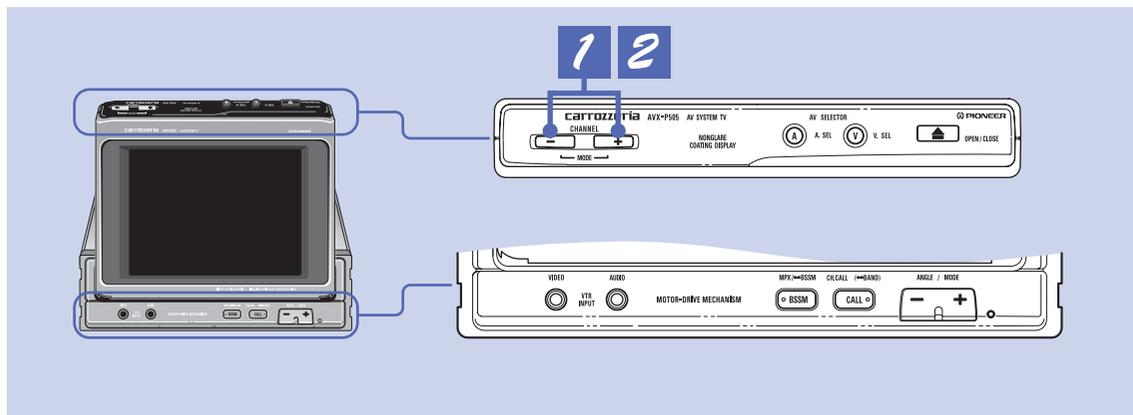
## 6 カーステレオで音量を調節する

カーステレオの説明書参照

# 自動選局できないチャンネルを見る

## 手動選局

電波が弱くて、自動選局できないチャンネルを受信したいときは、手動で選局することができます。



## 1 手動選局モードにする

CHANNEL ボタンの + と - を同時に押す

ボタンを押すごとに次のようにモードが切り換わります。



## 2 チャンネルを合わせる

CHANNEL ボタンを押す

- + : チャンネルを大きくするとき
- : チャンネルを小さくするとき



ボタンを押し続けると連続して送られます。

### メモ

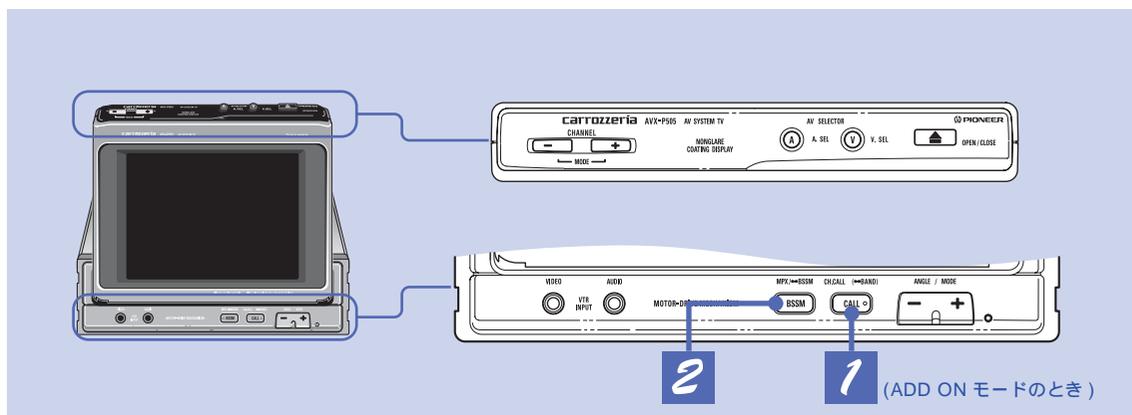
IP-BUS モードでお使いの場合は、メインユニットでも操作できます。(24ページ)

IP-BUS モードでお使いの場合は、プリセット選局モードには切り換わりません。

# 自動的に複数のチャンネルを記憶させる

BSSM

自動的に受信状態の良いチャンネルをさがして、チャンネルの小さい順に記憶させることができます。TV1とTV2でそれぞれ12局を一度に記憶します。  
(TV1のバンドには、あらかじめVHF1～12 CHが記憶されています。)



## 1 記憶させるバンドを選ぶ

### IP-BUSモードのとき

メインユニットでバンドを選ぶ  
(☞ 24ページ)

### ADD ONモードのとき

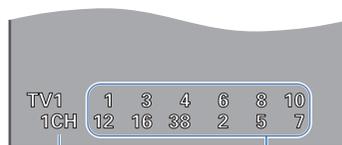
CALL ボタンを2秒以上押す

## 2 BSSM を始める

BSSM ボタンを2秒以上押す



記憶動作中に表示されます。



記憶動作が終わると、記憶番号1に記憶したチャンネルが受信されます。

記憶したチャンネルが、記憶番号順に一覧表示されます。

## メモ

IP-BUSモードでお使いの場合は、メインユニットでも操作することができます。また、好きな記憶番号に受信中のチャンネルを記憶させることもできます[プリセットメモリー]。(☞ 24ページ)

受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

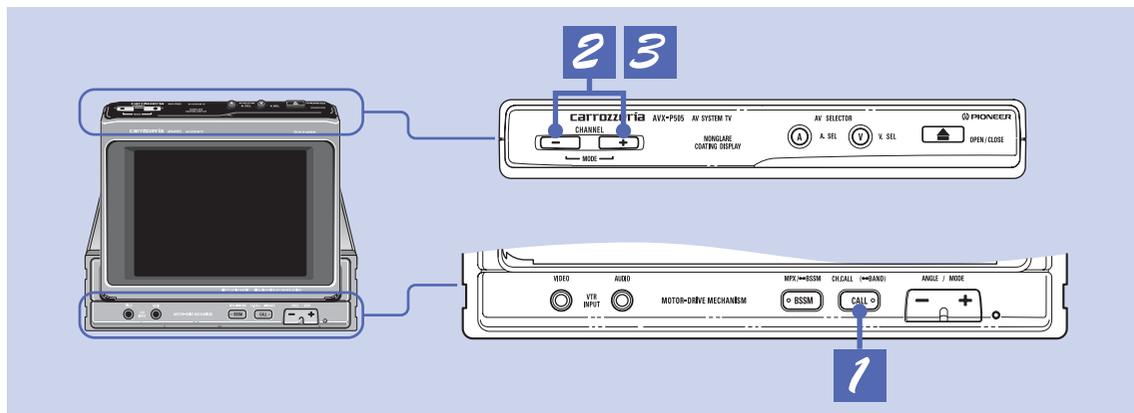
記憶させたチャンネルを受信するには  
(☞ 18ページ)

# 記憶させたチャンネルを受信する

## プリセット選局

ADD ONモードでお使いの場合は、記憶させたチャンネルを、本機の操作で簡単に受信することができます。

チェック IP-BUSモードでお使いの場合は、メインユニットで操作します。(👉 24ページ)



### ADD ONモードのとき

#### 1 記憶させたバンドを選ぶ

CALL ボタンを2秒以上押す

#### 2 プリセット選局モードにする

CHANNEL ボタンの+と-を同時に押す  
ボタンを押すごとに次のようにモードが切り換わります。



- SEEK 自動選局モード  
(👉 14ページ)
- MANU 手動選局モード  
(👉 16ページ)
- PRE プリセット選局モード  
記憶させたチャンネルを選局したいとき

#### 3 記憶させたチャンネルを呼び出す

CHANNEL ボタンを押す

- + : 次の記憶番号のチャンネルを呼び出すとき
- : 前の記憶番号のチャンネルを呼び出すとき

記憶されているチャンネル

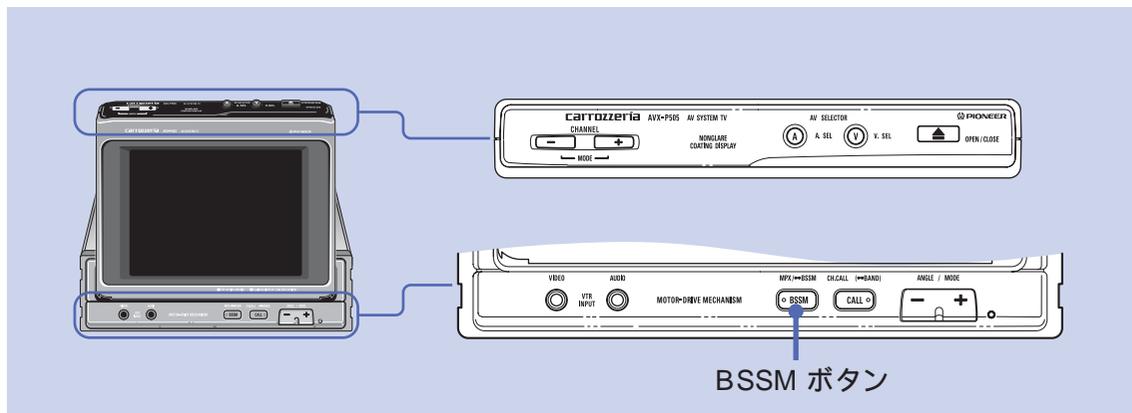


記憶番号  
1 ~ 12まであります。

## 2カ国語放送の副音声を聞く

### 音声切り換え

2カ国語放送（音声多重放送）を受信しているときは、主音声（日本語）や副音声（外国語）だけを聞くことができます。



### 聞きたい音声を 選ぶ

BSSM ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように音声切り換わります。

2カ国語放送を受信しているときに表示されます。



- ▶ MAIN 主音声  
日本語だけを聞けます。
- ▼ SUB 副音声  
外国語だけを聞けます。
- ▶ M + S 主音声 + 副音声  
日本語と外国語の両方を聞けます。

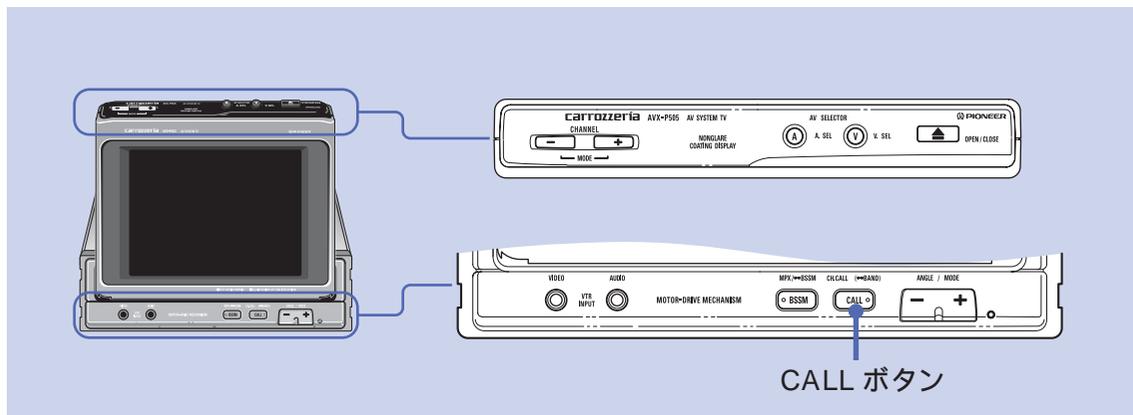
### メモ

IP-BUSモードでお使いの場合は、メインユニットでも操作することができます。その場合は、ステレオ放送の音声をモノラルで聞くこともできます。  
( 24ページ)

ニュースや洋画の2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語で放送します。(逆の場合もあります。)

# 受信中のチャンネルや記憶されている

受信中のチャンネルやバンド、選局モードなど、現在の受信状態を表示させることができます。また、現在のバンドに記憶されているチャンネルを、一覧表示させることもできます。



## 表示する

### CALL ボタンを押す

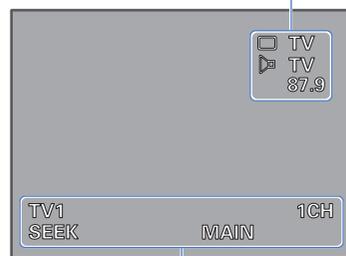
ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

- ▶ チャンネルコール表示
- ▼
- ▶ プリセット一覧表示
- ▼
- ▶ 表示解除

チャンネルコール表示およびプリセット一覧表示は、約8秒間表示されます。

### チャンネルコール表示

現在の映像と音声（およびADD ONモードのときは送信周波数）が表示されます。



現在の受信状態が表示されます。

### メモ

テレビを受信していないときは、プリセット一覧表示には切り換わりません。

# チャンネルを確認する

チャンネルコール / プリセット一覧

## プリセット一覧表示

TV1	1	3	4	6	8	10
1CH	12	16	38	2	5	7

受信中のチャンネルが表示されます。

記憶されているチャンネルが、記憶番号順に一覧表示されます。

# 本機と組み合わせるメインユニットについて

IP-BUSモードでは、本機のテレビの操作は、本機とメインユニットで行います。

## 組み合わせるメインユニットの種類について

本機をコントロールできるメインユニットは、操作方法の違いによって、3種類に分けられます。

### ① 本機をテレビソースとしてコントロールするメインユニット (☞ 次ページ)

DEH-P505/DEH-P707/DEX-P1/DEH-P900/DEH-P700/DEH-P500  
 MEH-P707/MEH-P800  
 KEH-P303/KEH-P600/KEH-P400  
 FH-P909MD/FH-P707MD/FH-P505MD/FH-P900MD  
 FH-P606/FH-P404/FH-P700

### ② 本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット (☞ 次ページ)

KEH-P300

### ③ 旧モデルのメインユニット (☞ メインユニットの取扱説明書)

[本機をテレビソースとしてコントロールします。]

DEH-P990/DEH-P660/DEH-P550/DEH-P99  
 DEX-P9/DEX-P7  
 KEH-P880/KEH-P770/KEH-P440/KEH-P330/KEH-P88/KEH-P77/KEH-P55/  
 KEH-P44/KEH-P33  
 FH-P80M/FH-P80

(旧モデルのメインユニットでのテレビの操作は、メインユニットの取扱説明書に記載されていますので、そちらをご覧ください。)

## メモ

本機をエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするメインユニット「KEH-P300」は、エクスターナルユニットを2台以上コントロールすることができません。本機を接続したときは、ほかのエクスターナルユニットは接続しないでください。

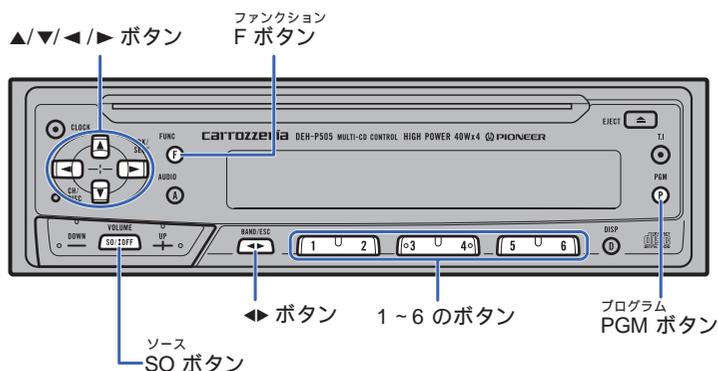
「KEH-P300」がエクスターナルユニット (EXT) としてコントロールするユニットには、本機のほかに、1枚型MD「MDS-P700」、マルチMD「MD-P100II」、ボイスコントロールディスクセクター「CD-VC50」があります。

# メインユニットでのテレビの操作

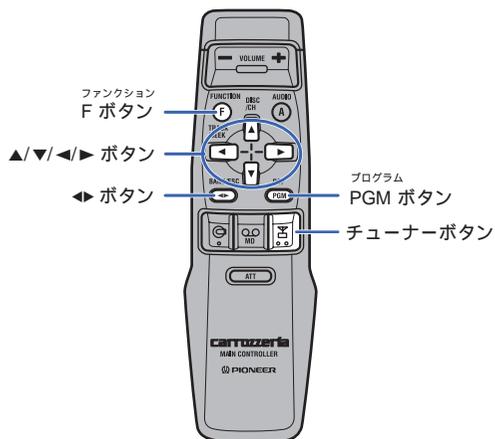
メインユニットでのテレビの操作は、次のメインユニットのボタン名称と、24ページの機能対応表を参照して、行ってください。

## メインユニットのボタン名称

例：「DEH-P505」



例：別売のメインコントローラー「CD-R66」



## メモ

DEH-P505以外のメインユニットをお使いの場合は、メインユニットの取扱説明書も参考にして、同じ機能のボタンで操作を行ってください。

メインユニットによっては、メインコントローラーが付属しています。

# メインユニットでのテレビの操作 (つづき)

メインユニット ① DEH-P505/DEH-P707/DEX-P1/DEH-P900/DEH-P700/DEH-P500  
 MEH-P707/MEH-P800/KEH-P303/KEH-P600/KEH-P400  
 FH-P909MD/FH-P707MD/FH-P505MD/FH-P900MD  
 FH-P606/FH-P404/FH-P700

メインユニット ② KEH-P300

機能対応表

機能名称		項目	メインユニット ①	メインユニット ②
ソース切り換え	-	操作	本体 SO/SOURCE (ソース)	SO (ソース)
		メインコントローラー <sup>1</sup>	☒	--- <sup>2</sup>
バンド切り換え	-	操作	本体 ◀▶ (バンド)	◀▶ (バンド)
		メインコントローラー <sup>1</sup>	◀▶	◀▶
プリセットメモリー <sup>3</sup>	-	操作	本体 1 ~ 6 (2秒以上) <sup>4</sup>	1 ~ 6 (2秒以上) <sup>4</sup>
		メインコントローラー <sup>1</sup>	---	---
プリセット選局 (ダイレクト選局)	-	操作	本体 1 ~ 6 <sup>5</sup>	1 ~ 6 <sup>6</sup>
		メインコントローラー <sup>1</sup>	---	---
プリセット選局 (アップ/ダウン)	-	操作	本体 ▲ / ▼	---
		メインコントローラー <sup>1</sup>	▲ / ▼	---
ファンクション モードの切り換え <sup>8</sup>	-	操作	本体 F	F
		メインコントローラー <sup>1</sup>	F	F
		動作	BSSM MONO (モノラル受信) <sup>11</sup> MPX (音声切り換え) SEEK (選局モード切り換え)	FUNC 1 (プリセットスキャン <sup>9</sup> /BSSM) FUNC 2 (モノラル受信) FUNC 3 (音声切り換え) FUNC 4 (使用しない) <sup>10</sup> TRACK (選局モード切り換え)

## メモ

<sup>1</sup> 「DEH-P505/DEH-P500/KEH-P303/KEH-P400/KEH-P300」は別売のメインコントローラー「CD-R66」で操作します。

<sup>2</sup> 「KEH-P300」は、本機をエクスターナルユニット(EXT)としてコントロールします。そのため、別売のメインコントローラー「CD-R66」の☒ボタンでは、ソースをテレビに切り換えられません。

<sup>3</sup> 記憶番号1~6に、気に入ったチャンネルを、1チャンネルずつ手動で記憶させることができます。

<sup>4</sup> プリセットメモリー機能では、記憶番号1~6までしか記憶させることができません。(BSSM機能では、記憶番号1~12に記憶させることができます。)

<sup>5</sup> プリセット選局(ダイレクト選局)機能では、記憶番号1~6までしか呼び出すことができません。記憶番号7~12に記憶したチャンネルを呼び出したいときは、プリセット選局(アップ/ダウン)機能をお使いください。

機能名称		項目	メインユニット①	メインユニット②							
BSSM	17	モード	BSSM	FUNC 1							
		操作	<table border="1"> <tr> <td>本体</td> <td>▲ (2秒以上)</td> <td>▲ (2秒以上)</td> </tr> <tr> <td>メインコン ローラー<sup>1</sup></td> <td>▲ (2秒以上)</td> <td>▲ (2秒以上)</td> </tr> </table>	本体	▲ (2秒以上)	▲ (2秒以上)	メインコン ローラー <sup>1</sup>	▲ (2秒以上)	▲ (2秒以上)	▲ (2秒以上)	▲ (2秒以上)
本体	▲ (2秒以上)	▲ (2秒以上)									
メインコン ローラー <sup>1</sup>	▲ (2秒以上)	▲ (2秒以上)									
モノラル受信 <sup>11</sup>	-	モード	MONO	FUNC 2							
		操作	<table border="1"> <tr> <td>本体</td> <td>▲ / ▼</td> <td>▲ / ▼</td> </tr> <tr> <td>メインコン ローラー<sup>1</sup></td> <td>▲ / ▼</td> <td>▲ / ▼</td> </tr> </table>	本体	▲ / ▼	▲ / ▼	メインコン ローラー <sup>1</sup>	▲ / ▼	▲ / ▼	▲ / ▼	▲ / ▼
本体	▲ / ▼	▲ / ▼									
メインコン ローラー <sup>1</sup>	▲ / ▼	▲ / ▼									
音声切り換え	19	モード	MPX	FUNC 3							
		操作	<table border="1"> <tr> <td>本体</td> <td>◀ / ▶</td> <td>▲ / ▼</td> </tr> <tr> <td>メインコン ローラー<sup>1</sup></td> <td>◀ / ▶</td> <td>▲ / ▼</td> </tr> </table>	本体	◀ / ▶	▲ / ▼	メインコン ローラー <sup>1</sup>	◀ / ▶	▲ / ▼	▲ / ▼	▲ / ▼
		本体	◀ / ▶	▲ / ▼							
メインコン ローラー <sup>1</sup>	◀ / ▶	▲ / ▼									
動作	 MAIN SUB M + S	 MAIN SUB M + S									
選局モード 切り換え	16	モード	SEEK	TRACK / MANUAL							
		操作	<table border="1"> <tr> <td>本体</td> <td>◀ / ▶</td> <td>◀ / ▶</td> </tr> <tr> <td>メインコン ローラー<sup>1</sup></td> <td>◀ / ▶</td> <td>◀ / ▶</td> </tr> </table>	本体	◀ / ▶	◀ / ▶	メインコン ローラー <sup>1</sup>	◀ / ▶	◀ / ▶	◀ / ▶	◀ / ▶
		本体	◀ / ▶	◀ / ▶							
メインコン ローラー <sup>1</sup>	◀ / ▶	◀ / ▶									
動作	 AUTO (自動選局) MANU (手動選局)	 TRACK (自動選局) MANUAL (手動選局)									
自動選局/手動選局	12	操作	本体	◀ / ▶							
	16		メインコン ローラー <sup>1</sup>	◀ / ▶							

▼  
次ページへつづく

## メモ

<sup>6</sup> プリセット選局 (ダイレクト選局) 機能では、記憶番号 1 ~ 6 までしか呼び出すことができません。記憶番号 7 ~ 12 に記憶したチャンネルを呼び出したいときは、プリセットスキャン選局機能をお使いください。

<sup>7</sup> 「KEH-P300」ではプリセット選局 (アップ/ダウン) を行うことができません。

<sup>8</sup> 「KEH-P300」は、ファンクションモードに切り換えると、モード表示 (例“ FUNC 1 ”) が約 2 秒間点灯します。モード表示が消えた後は“  ”表示が点滅して、ファンクションモードになっていることを知らせます。

<sup>9</sup> プリセットスキャン選局は、記憶番号 1 ~ 12 に記憶されているチャンネルを、約 8 秒間ずつ徐々に受信する機能です。見たいチャンネルをさがすときに便利です。

<sup>10</sup> FUNC 4 モードは、テレビの操作には使用しません。(このモードに切り換えて ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押しても、何も動作しません。)

<sup>11</sup> ステレオ放送の雑音が多いときは、モノラル受信にすることによって雑音を少なくすることができます。(DEX-P1/FH-P909MD/FH-P707MD/FH-P505MD/FH-P606/FH-P404 と組み合わせた場合は、MONO モードへの切り換えはできません)

# メインユニットでのテレビの操作 (つづき)

メインユニット ① DEH-P505/DEH-P707/DEX-P1/DEH-P900/DEH-P700/DEH-P500  
 MEH-P707/MEH-P800/KEH-P303/KEH-P600/KEH-P400  
 FH-P909MD/FH-P707MD/FH-P505MD/FH-P900MD  
 FH-P606/FH-P404/FH-P700

メインユニット ② KEH-P300

## 機能対応表 (つづき)

機能名称		項目	メインユニット ①	メインユニット ②	
プリセット スキャン選局 <sup>9</sup>	-	モード	--- <sup>12</sup>	FUNC 1	
		操作	本体	--- <sup>12</sup>	▲ / ▼
			メインコントローラ <sup>1</sup>	--- <sup>12</sup>	▲ / ▼
プログラマブル ファンクション <sup>13</sup> <sup>14</sup>	-	1 モード に入る	本体	F (2秒以上)	F (2秒以上)
			メインコントローラ <sup>1</sup>	F (2秒以上)	F (2秒以上)
		2 機能を 選ぶ	本体	◀ / ▶	◀ / ▶
			メインコントローラ <sup>1</sup>	◀ / ▶	◀ / ▶
		動作	BSSM ↓ MPX (音声切り換え) ▲ MONO (モノラル受信) <sup>18</sup> A/M (選局モード切り換え)	FUNC 1 (プリセットスキャン <sup>9</sup> /BSSM) ↓ FUNC 2 (モノラル受信) ▲ FUNC 3 (音声切り換え) FUNC 4 (使用しない) <sup>15</sup> A/M (選局モード切り換え)	
		3 学習 させる	本体	▲	▲
			メインコントローラ <sup>1</sup>	▲	▲
		4 操作 する	本体	PGM <sup>16</sup>	PGM <sup>17</sup>
メインコントローラ <sup>1</sup>	PGM <sup>16</sup>		PGM <sup>17</sup>		

### メモ

<sup>1</sup> 「DEH-P505/DEH-P500/KEH-P303/KEH-P400/KEH-P300」は別売のメインコントローラ「CD-R66」で操作します。

<sup>9</sup> プリセットスキャン選局は、記憶番号1～12に記憶されているチャンネルを、約8秒間ずつ次々に受信する機能です。見たいチャンネルをさがすときに便利です。

<sup>12</sup> メインユニット①ではプリセットスキャン選局を行うことができません。

<sup>13</sup> よく使う機能をPGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。

(初期設定では、メインユニット①はBSSM、メインユニット②「KEH-P300」はFUNC 1が学習されています。)

<sup>14</sup> 「DEH-P900」にはプログラマブルファンクションはありません。

<sup>15</sup> FUNC 4は、テレビの操作には使用しません。PGMボタンに学習させないでください。(学習させてPGMボタンを押しても、何も動作しません。)

## メモ

<sup>16</sup> PGM ボタンを押すごとに、記憶させた機能の ON/OFF または設定が切り換わります。BSSM 機能の場合は、ボタンを2秒以上押すと BSSM が始まります。

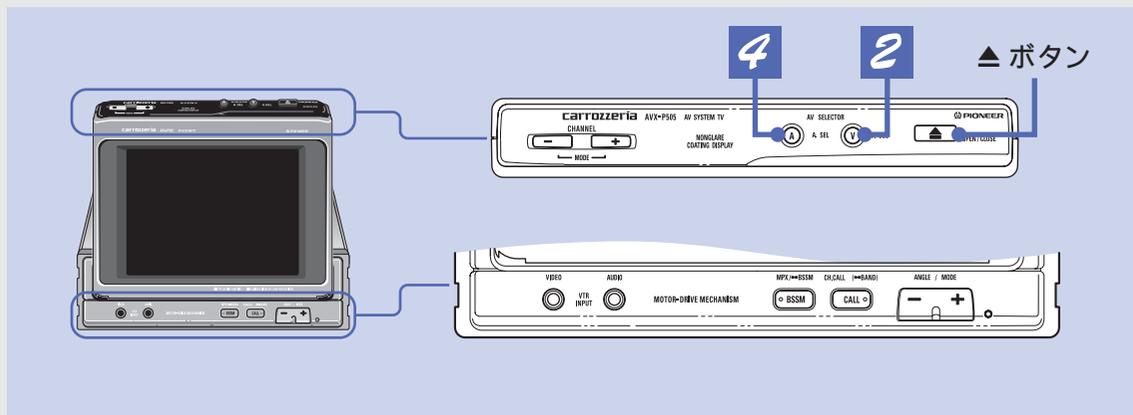
<sup>17</sup> PGM ボタンを押すごとに、記憶させた機能の ON/OFF または設定が切り換わります。FUNC 1 の場合は、ボタンを押している時間が2秒未満のときはプリセットスキャン選局が ON/OFF し、2秒以上のときは BSSM が始まります。

<sup>18</sup> 本機を DEX-P1/FH-P909MD/FH-P707MD/FH-P505MD/FH-P606/FH-P404 と組み合わせた場合は、MONO モードへの切り換えはできません。

# ナビゲーションやビデオの映像を見る

## (1) パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせた場合

ナビゲーションを本機のMCC映像入力端子に接続すると(取付説明書)、ナビゲーションのモニターとして使用することができます。また、8 mmビデオやポータブルビデオを本機のビデオ/オーディオ入力端子に接続すると(取付説明書)、その映像を楽しむことができます。



### 1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

ナビゲーションまたはビデオの説明書参照

ナビゲーションの電源を入れると、モニター部が自動的に立ち上がります。(自動収納/立ち上げ機能がONのとき)

ビデオの映像を見るときは、▲ ボタンを押してモニター部を立ち上げてください。

### 2 ナビゲーションまたはビデオの映像にする

V ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。



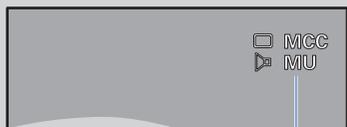
- ▶ BGV バックグラウンドの映像  
▼ 映像を見ないとき
- ▶ TV テレビの映像  
▼ (取付説明書 12 ページ)
- ▶ MCC ナビゲーションの映像  
▼ ナビゲーションの映像を見るとき
- ▶ VTR ビデオの映像  
▼ ビデオの映像を見るとき

ナビゲーションの電源を入れると、自動的に映像がナビゲーションになります。

### メモ

走行中にビデオの映像を見ることはできません。(音声は聞くことができます。)

メインユニットのソースをテレビ以外にしたとき、ナビゲーションまたはビデオの映像を見ながらメインユニットの各ソースの音声を聞くことができます。



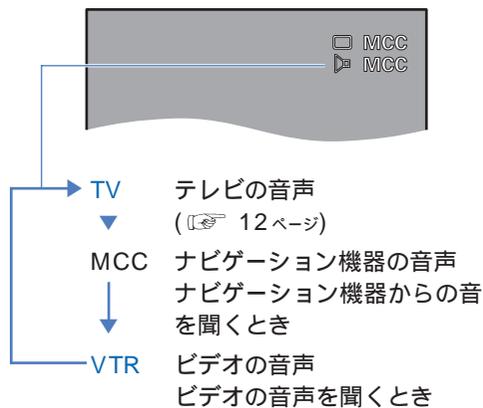
“MU”と表示

### 3 メインユニットのソースをテレビにする (☞ 24ページ)

### 4 聞きたい音声ソースを選択する

A ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように音声切り換わります。



### 5 メインユニットで音量を調節する

メインユニットの取扱説明書参照

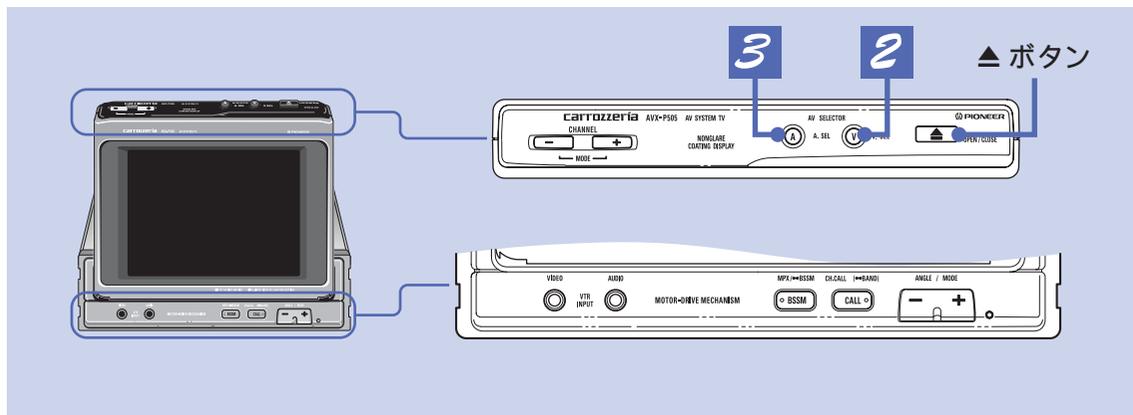
#### メモ

音声出力端子付きのGPSカーコンピューターや、オーバーレイディスクプレーヤーの音楽CD音声出力などを、本機のMCC音声入力(☞取付説明書)に入力した場合、その音声をカーステレオのスピーカーから聞く事ができます。但し、他のソースの音とのミキシングはできません。(音声出力端子が無いAVIC-505などと組み合わせた場合は、MCCに切り換えてもカーステレオのスピーカーからは何も音は出ません)

# ナビゲーションやビデオの映像を見る

## (2) お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせた場合 (ADD ONモード)

ナビゲーションを本機のMCC映像入力端子に接続すると(取付説明書)、ナビゲーションのモニターとして使用することができます。また、8 mmビデオやポータブルビデオを本機のビデオ/オーディオ入力端子に接続すると(取付説明書)、その映像を楽しむことができます。



### 1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

ナビゲーションまたはビデオの説明書参照

ナビゲーションの電源を入れると、モニター部が自動的に立ち上がります。(自動収納/立ち上げ機能がONのとき)

ビデオの映像を見るときは、▲ボタンを押してモニター部を立ち上げてください。

### 2 ナビゲーションまたはビデオの映像にする

Vボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。



- ▶ BGV バックグラウンドの映像  
▼ 映像を見ないとき
- ▶ TV テレビの映像  
▼ (取付説明書 14ページ)
- ▶ MCC ナビゲーションの映像  
▼ ナビゲーションの映像を見る  
▼ とき
- ▶ VTR ビデオの映像  
▼ ビデオの映像を見る  
▼ とき

ナビゲーションの電源を入れると、自動的に映像がナビゲーションになります。

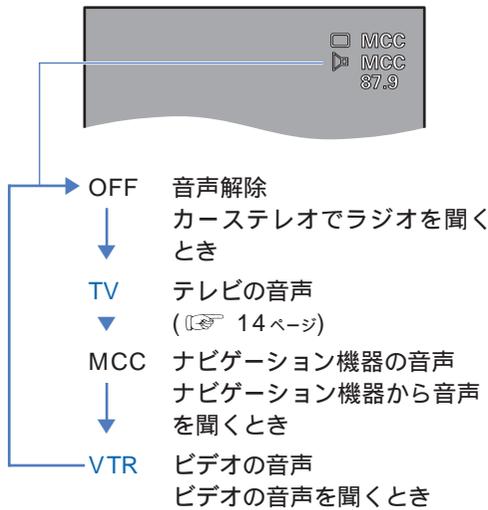
### メモ

走行中にビデオの映像を見ることはできません。(音声は聞くことができます。)

### 3 聞きたい音声ソースを選択する

A ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように音声切り換わります。

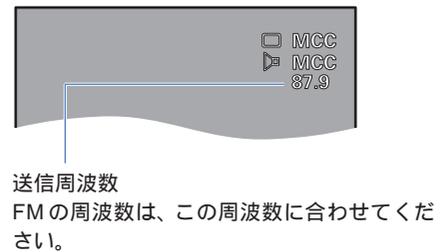


カーステレオのラジオを聞くときは、必ず音声ソースを“OFF”にしてください。“OFF”にしないとラジオの受信感度が落ちることがあります。

### 4 選択した音声ソースをカーステレオのスピーカーから聞く

カーステレオでFMの87.9 MHzを受信する

カーステレオのスピーカーから選択した音声ソースの音出力されます。



本機の音声がFM放送と混信する場合は、ほかの送信周波数に変えてください。  
(☞ 32 ページ)

### 5 カーステレオで音量を調節する

カーステレオの説明書参照

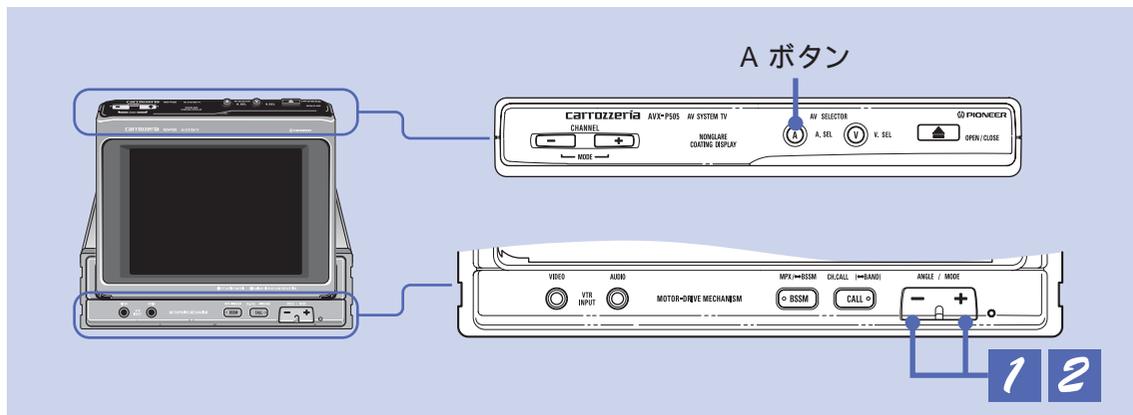
#### メモ

音声出力端子付きのGPSカーコンピュータや、オーバーレイディスクプレーヤーの音楽CD音声出力などを、本機のMCC音声入力(☞ 取付説明書)に入力した場合、その音声をカーステレオのスピーカーから聞く事ができます。但し、他のソースの音とのミキシングはできません。(音声出力端子が無いAVIC-505などと組み合わせた場合は、MCCに切り換えてもカーステレオのスピーカーからは何も音は出ません)

# 送信周波数を変更する

ADD ONモードで、本機の音声が入力と混信する場合は、ほかの送信周波数に変更してください。

チェック IP-BUSモードでは使用しません。



## ADD ONモードのとき

音声ソースが“OFF”になっていたら別の音声に切り換える

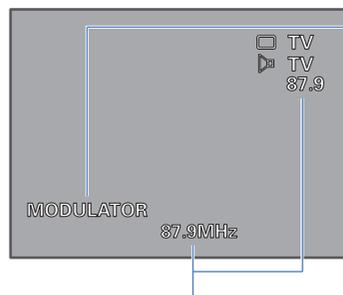
A ボタンを押す

本機の音声ソースが“OFF”になっている時は、送信周波数の変更はできません。

## 1 送信周波数設定モードにする

ANGLE/MODE ボタンの + と - を同時に押す

ボタンを押すごとに次のようにモードが切り換わります。



現在の送信周波数が表示されます。

- ▶ BRIGHT 明るさ (ブライツ) 調整モード  
▼ (☞ 34 ページ)
- COLOR 色の濃さ (カラー) 調整モード  
▼ (☞ 34 ページ)
- HUE 色あい (ヒュー) 調整モード  
▼ (☞ 34 ページ)
- MODULATOR 送信周波数設定モード  
▼ 送信周波数を変更するとき
- ANGLE モニター角度調節モード  
通常のモード (モニター部の角度が調節できます。)

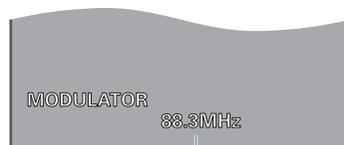
送信周波数設定モードは、約8秒間、何も操作しないと自動的に解除されます。

映像がバックグラウンド (BGV) のときは、“BRIGHT”、“COLOR”、“HUE”には切り換わりません。

## 2 送信周波数を選ぶ

ANGLE/MODE ボタンを押す

- + : 高い周波数を選ぶとき
- : 低い周波数を選ぶとき

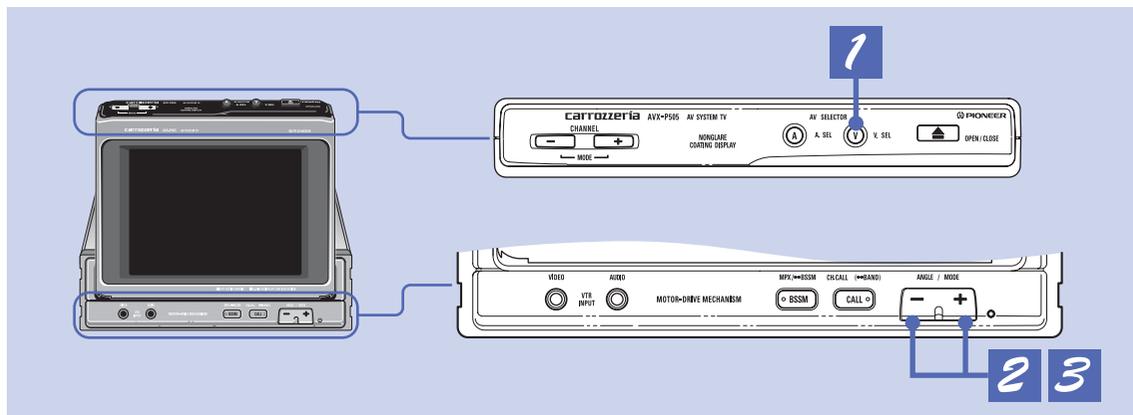


87.9 MHz、88.1 MHz、88.3 MHz、88.5 MHz、88.7 MHzの中から選ぶことができます。

選んだ周波数が送信周波数として設定されます。

# 映像の明るさや色を調整する

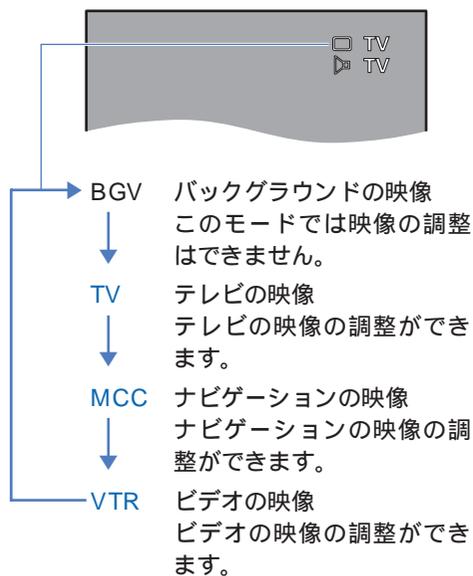
映像の明るさ (BRIGHT)、色の濃さ (COLOR) と色あい (HUE) をお好みに合わせて変えることができます。



## 1 調整したい映像を選ぶ

V ボタンを押す

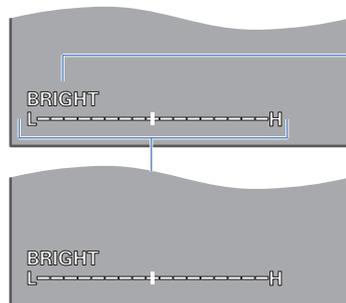
ボタンを押すごとに次のように映像が切り換わります。



## 2 調整モードを選ぶ

ANGLE/MODE ボタンの + と - を同時に押す

ボタンを押すごとに次のようにモードが切り換わります。



現在の映像の設定が表示されます。

- ▶ **BRIGHT** 明るさ (ブライツ) 調整モード  
▼ 映像の明るさを調整するとき
- COLOR** 色の濃さ (カラー) 調整モード  
▼ 映像の色の濃さを調整するとき
- HUE** 色あい (ヒュー) 調整モード  
▼ 映像の色あいを調整するとき
- MODULATOR** 送信周波数設定モード  
↓ (ADD ON モードのとき)  
( 32 ページ)
- ▶ **ANGLE** モニター角度調節モード  
通常のモード (モニター部の角度が調節できます。)

各調整モードは、約 8 秒間、何も操作しないと自動的に解除されます。

## 3 調整する

ANGLE/MODE ボタンを押す

明るさ (ブライツ) の調整の場合

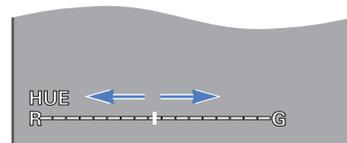
- + : 明るくなる
- : 暗くなる

色の濃さ (カラー) の調整の場合

- + : 色が濃くなる
- : 色が薄くなる

色あい (ヒュー) の調整の場合

- + : 肌色が緑がかる
- : 肌色が紫がかる

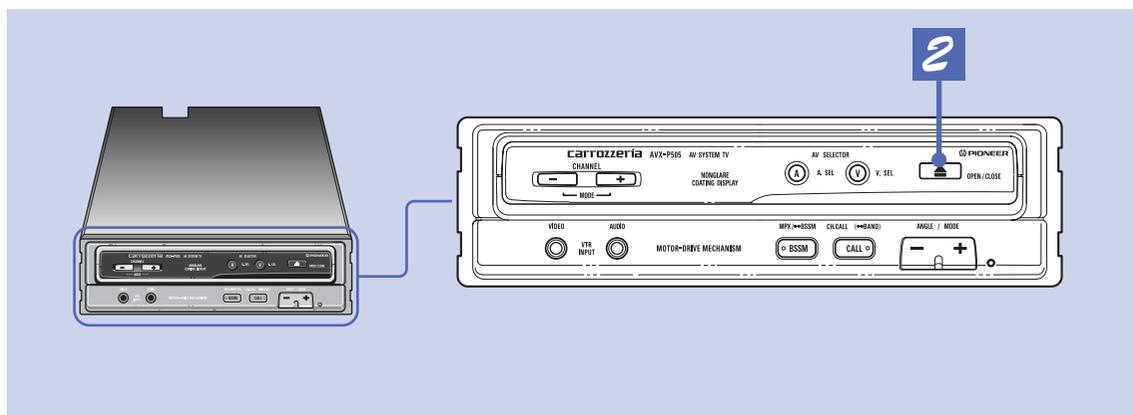


各調整項目は、49 段階に調整できます。

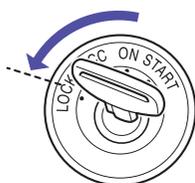
# 自動収納/立ち上げ機能を解除する

## 自動収納 / 立ち上げ機能

オートマチック車のシフトレバーが“P”(パーキング)の位置のとき、自動収納/立ち上げ機能でモニター部がシフトレバーに当たってしまう場合や、モニター部の立ち上げを自動的に行いたくない場合は、自動収納/立ち上げ機能を解除してください。



### 1 車のエンジンスイッチをOFFにする



### 2 自動収納/立ち上げ機能を解除する

▲ ボタンを押しながら車のエンジンスイッチをON (またはACC) にする



自動収納/立ち上げ機能が解除されます。

もう一度同じ操作を行うと、自動収納/立ち上げ機能がONになります。

### メモ

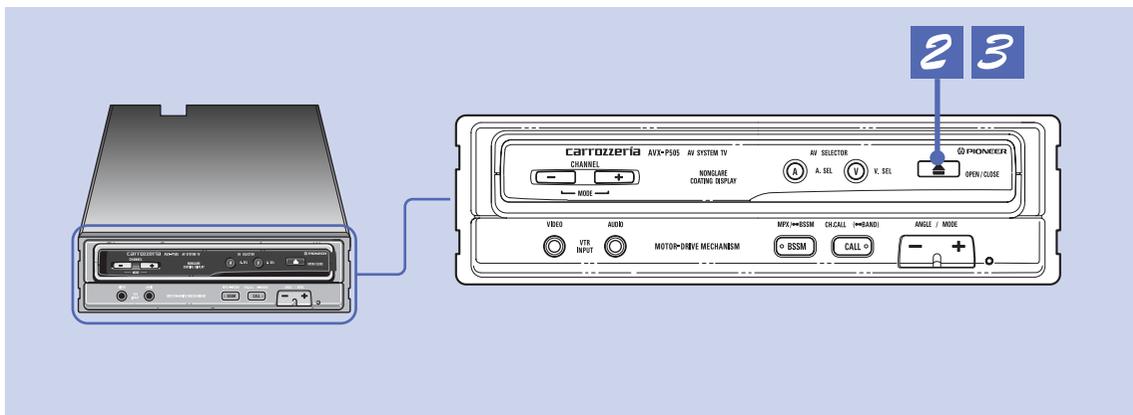
モニター部が立ち上がっている状態のときも、同じ操作で自動収納/立ち上げ機能を解除することができます。

本体にモニター部を収納して車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、自動収納/立ち上げ機能の設定/解除に関わらず、エンジンスイッチをON (またはACC) にしてもモニター部は立ち上がりません。▲ ボタンを押して立ち上げてください。(10ページ)

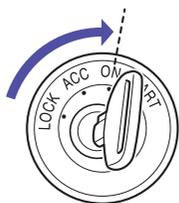
# 画面を後ろに下げて使用する

## セットバック機能

画面を後ろに下げて使用するときは、セットバック機能をONに設定してください。セットバック機能は、モニター部を立ち上げた後に、自動的にモニター部を後ろに下げる機能です。



### 1 車のエンジンスイッチをON(またはACC)にする



### 2 モニター部が立ち上がっていたら収納する

▲ ボタンを押す

モニター部が立ち上がっているときは、セットバック機能を設定することができません。

### 3 セットバック機能をONにする

▲ ボタンを2秒以上押す

セットバック機能がONになります。

もう一度同じ操作を行うと、セットバック機能が解除されます。

セットバック機能でモニター部を本体に押し付けられたときのモニター部の角度は、セットバック機能を解除したときより下向きになります。

セットバック時に、モニター部が車のボタンなどの突起物に当たると、角度調節がうまくできない場合があります。このような場合は、セットバック機能をOFFにしてください。

その他の機能

# モニターの正しい使いかた

## 取り扱い上のご注意

モニター部に直射日光の当たる状態で長時間放置しておくと、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。本機を使用していないときは、本体にモニター部を収納し、できるだけモニター部に直射日光が当たらないようにしてください。



本機は次の温度範囲内でお使いください。

使用温度範囲： - 10度 ~ + 50度

保存温度範囲： - 20度 ~ + 80度

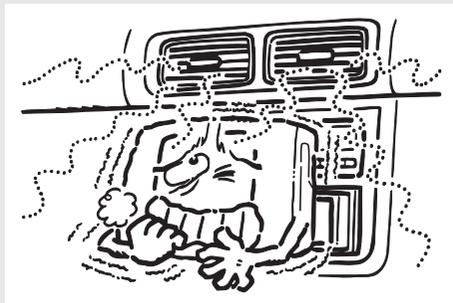
モニター部の液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。

モニター部を立ち上げたときに、モニター部の上に物を置かないでください。また、モニター部の角度調節や立ち上げ、収納を手動で行わないでください。モニター部に強い力が加わると故障することがあります。



キズや汚れの原因になりますので、液晶画面は触らないでください。

モニター部を立ち上げたときに、モニター部がエアコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エアコンの風がモニター部に当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でモニター内部に水滴が付いて故障する恐れがあります。また、クーラーの冷気によりモニター部が冷やされると、画面が暗くなったり、内部に使われている小型蛍光管の寿命が短くなる可能性があります。



モニター部の立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物をはさまると、モニター部が動かなくなることがあります。モニター部が動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いてもう一度▲ボタンを押してください。



## 液晶画面について

モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

モニター画面に直射日光が当たると、光が反射して映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

## 小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター部の内部に小型蛍光管を使用しています。

蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。（寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります。）

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときは、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

## お手入れについて

画面に付いたホコリやモニター部の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布で拭きしてください。

画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



# 故障かな？と思ったら

故障かな？と

思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても

直らないときは

本機をリセットしてください。(☞ 次ページ)

それでも

直らないときは

保証書とアフターサービス(☞ 42ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

## 共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。 画面が正しく表示されない。	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(☞ 取付説明書)
	モード切り換えスイッチの設定が適切でない。	組み合わせたシステムに合ったモードに切り換えてください。(☞ 取付説明書)
	ノイズなどが原因で、内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットしてください。(☞ 次ページ)
車のエンジンスイッチをOFFにしてもモニター部が収納されない。	自動収納/立ち上げ機能が解除されている。	自動収納/立ち上げ機能をONにしてください。(☞ 36ページ)
映像の色が薄い。または濃い。	カラーまたはヒューの調整が適切でない。	カラーを調整してください。(☞ 34ページ)
映像の色合いがおかしい。		ヒューを調整してください。(☞ 34ページ)
映像が明るい。映像が暗い。	ブライトの調整が適切でない。	ブライトを調整してください。(☞ 34ページ)
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
液晶画面が暗い。	車のライトがONになっている。	本機は、夜間でも見やすいように、車のライトをONにすると、画面が自動的に暗くなるように設計されています。
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。
音声が切り換わらない。 (IP-BUSモードのとき)	メインユニットのソースがテレビになっていない。	メインユニットのソースをテレビに切り換えてください。(☞ メインユニットの取扱説明書)
音が出ない。 音が小さい。	カーステレオの音量を下げています。	カーステレオの音量を調節してください。(☞ カーステレオの説明書)
	音声が“OFF”になっている。 (ADD ONモードのとき)	音声を“OFF”以外に切り換えてください。(☞ 14ページ)
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。 (ADD ONモードのとき)	本機の送信周波数とFM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。(☞ FM付きカーステレオの説明書)
カーステレオのラジオが聞きづらい。 (ADD ONモードのとき)	音声が“OFF”以外になっている。	音声を“OFF”に切り換えてください。(☞ 14ページ)

## テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー”という 雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 (☞ 12、14、16、18ページ)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 (☞ 12、14、16、18ページ)
	周りに障害物があるなど、受 信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が 少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。(☞ 16ページ)

# リセットについて

## リセットボタンについて

リセットボタンは、本機のマイコンをリセットするボタンです。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

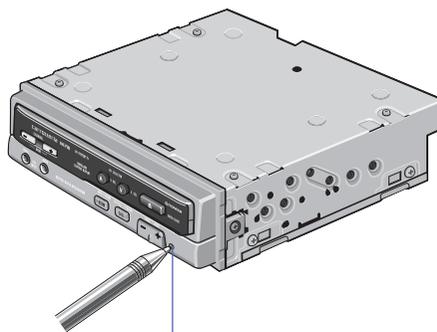
本機が正しく動作しないとき。

画面が正しく表示されないとき。

なお、リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻ります。本機の記憶（チャンネルのプリセットや映像の明るさの設定など）が消去されますので、もう一度セットし直してください。

## リセットボタンの押しかた

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



リセットボタン

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター(I・C)をご利用ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

# 仕様

## モニター部

画面サイズ	: 5.5 インチ (有効表示面積 : 83.5 × 111.36 mm)
有効画素数	: 224,640 画素
方式	: TFT アクティブマトリクス方式
使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
保存温度範囲	: - 20 ~ + 80

## TV チューナー部

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12 ch, UHF13 ~ 62 ch
実用感度	: 20 dBf (1.2 $\mu$ V / 75 $\Omega$ )
映像S/N	: 35 dB 以上 (70 dBf 映像入力、白 100 %)
映像雑音制限感度	: 50 dBf (映像レベル)
クロストーク	: 主 副 35 dBf 以上 副 主 45 dBf 以上
S/N	: 50 dB (IHF-A ネットワーク)
ステレオ セパレーション	: 30 dB 以上 (1 kHz)
外部映像 入力レベル	: 1 V p-p / 75 $\Omega$
外部音声最大 入力レベル	: 450 mV

## 共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 1.5 A

## 外形寸法

取付寸法	: 178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm
ノーズ寸法	: 170 (W) × 46 (H) × 20 (D) mm
モニター部	: 156 (W) × 126 (H) × 23.5 (D) mm

## 質量

本体	: 1.8 kg
----	----------

## 付属品

コードユニット	: 1
取付化粧パネル	: 1
取付ネジ類	: 1 式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理 窓口のご案内	: 1

## メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なることがあります。

本機は日本国内専用です。放送規格の違う外国ではご使用になれません。



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

< 98A00F0A01 >

© パイオニア株式会社 1998

< CRA2498-A >

# パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌	TEL 011-644-4779	大阪	TEL 06-353-3705
	仙台	TEL 022-375-4417	広島	TEL 082-228-2239
	名古屋	TEL 052-532-1141	福岡	TEL 092-441-8076